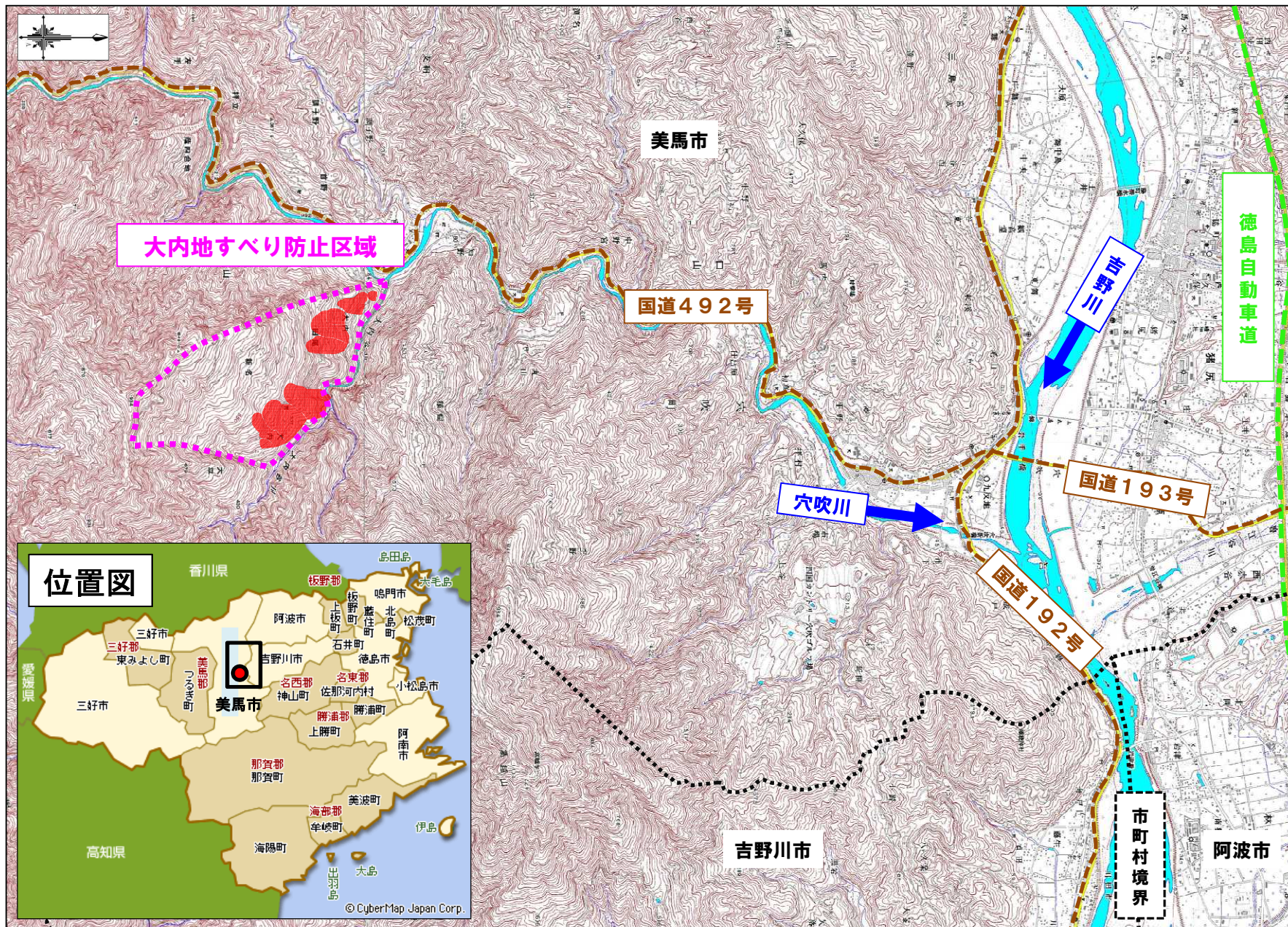


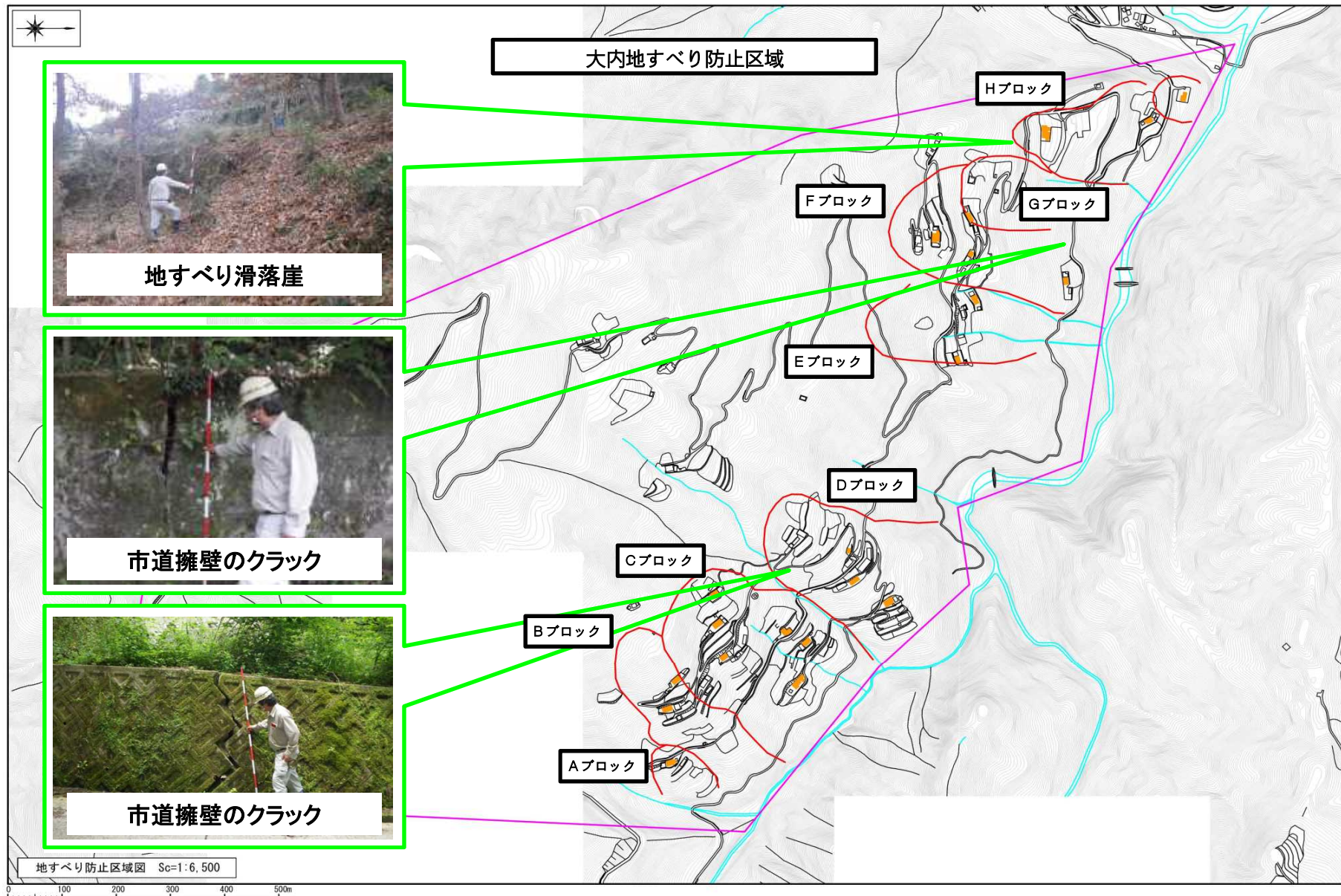
再評価【番号4】

大内地すべり防止区域
地すべり対策事業

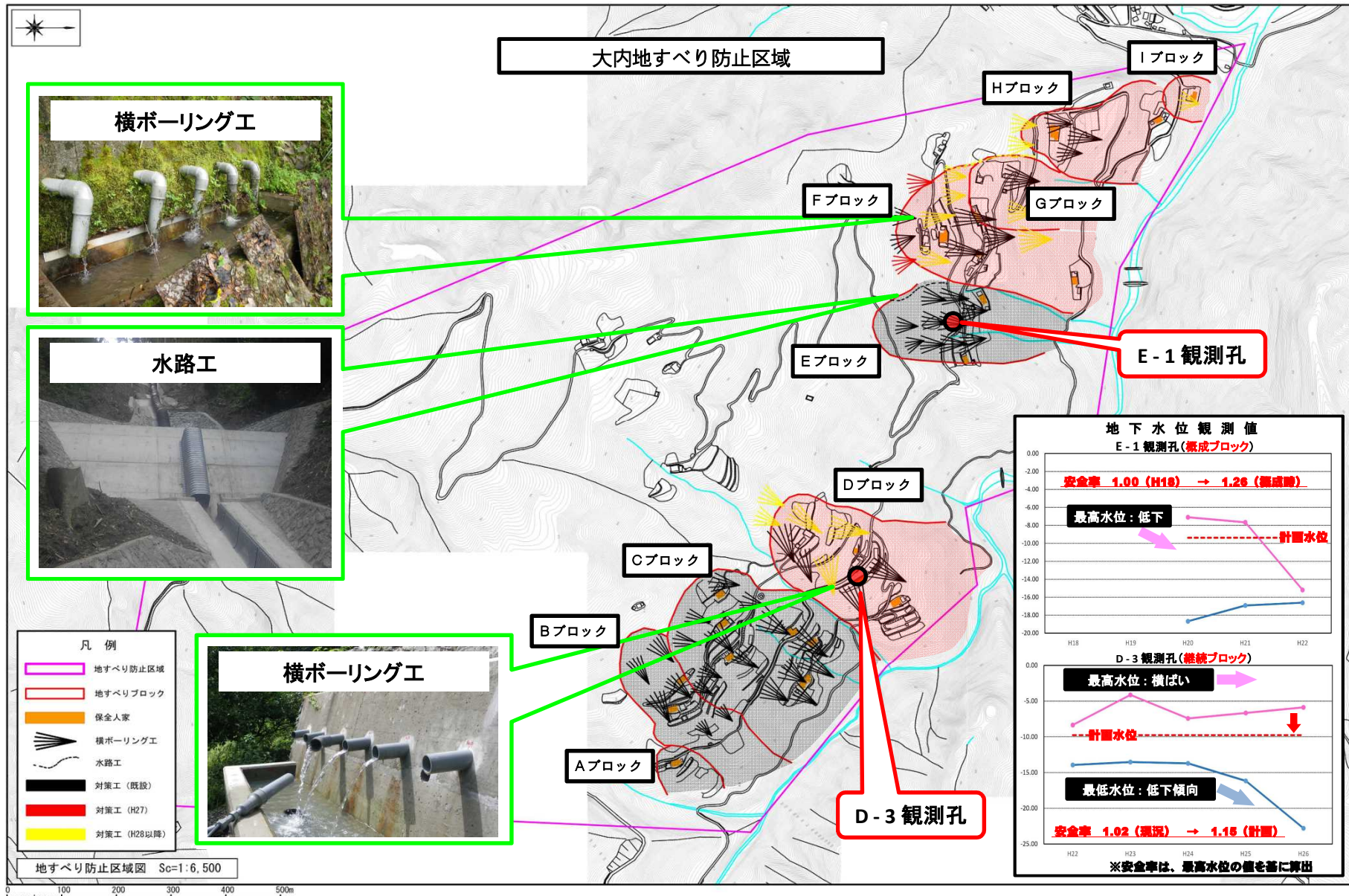
1. 事業箇所



2. 変状状況



3. 事業の進捗状況



4. 整備効果

貨幣換算可能な整備効果

マニュアルによる便益

- 一般資産被害軽減
- 公共土木施設被害軽減
- 応急対策費用軽減
- 人的被害軽減
- (人的被害による)精神的被害軽減

計25.8億円 (現在価値化後)

$$B/C = 2.7$$

※費用C=9.8億円 (現在価値化後)



その他の便益

森林の公益的機能の保全

- 大内地区内の森林評価額

16百万円 (現在価値化後)

※みどりの要覧(徳島県)

貨幣価値に表れない整備効果

被災可能性に対する不安の軽減効果

- 対策の完成により、地すべりへの懸念を和らげる。



水路工



横ボーリング工

- 道路の保全により、避難所への経路の分断を防止し安全に避難ができる。



→ **安心感の向上**

波及被害の抑止効果

- 地すべりの沈静化により、区域内の電柱をはじめとするライフラインが保全される。



電柱

大内地区

→ **住民生活の維持**

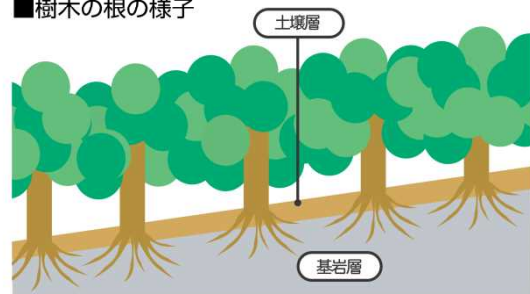
5. その他の整備効果

森林の公益的機能の保全

- ・表面浸食防止機能
- ・表層崩壊防止機能

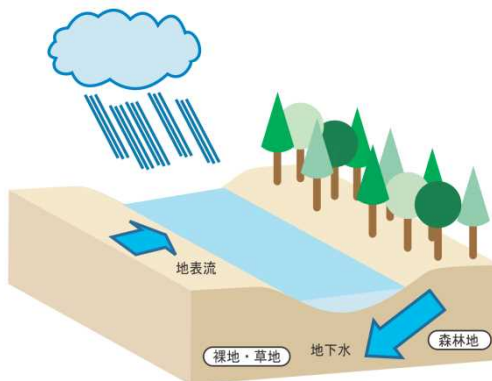
有林地と無林地との
崩壊面積の差を
山腹工事の費用で評価

■樹木の根の様子



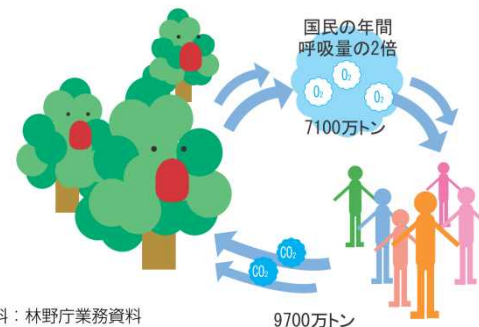
- ・水質浄化機能
- ・水資源貯留機能
- ・洪水緩和機能

雨水利用施設や
利水・治水ダムの
年間維持費等で評価



- ・CO2吸収機能

森林による
二酸化炭素吸収量を
火力発電による
二酸化炭素回収コスト
により評価



大内地区内の森林評価額：約1,600万円 ※平成26年度 みどりの要覧(林業統計)

6. 短期的な投資効果

【これまでの地すべり対策事業による投資効果】

■ 概成した地すべりブロック **4ブロック**
(全9ブロック)

保全施設

■ 保全された人家 **11戸**

■ 保全された市道 **730 m**

軽減効果

■ 軽減された被害額 **1,222百万円**

これまでの地すべり対策により
一定の被害を軽減

